

図1 1単位を有する剤型の場合(錠剤,カプセル剤,坐剤等)

※1単位とは、1錠、1カプセル、1個(坐剤)、1包(顆粒剤)などの1回で使い切るための個別に包装された製剤1個分のことをいう。(予製を含む)

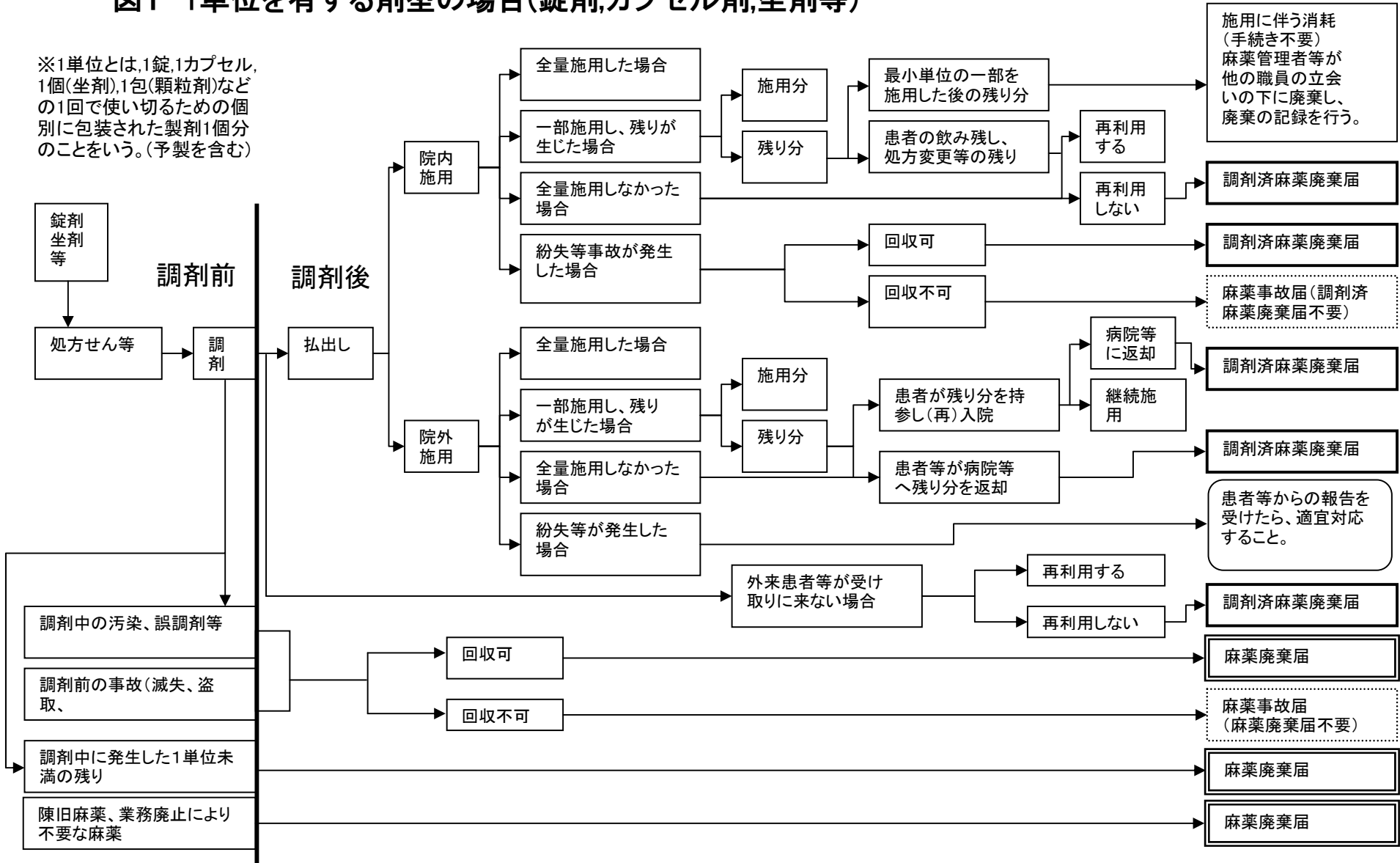


図2 院内施用の注射剤の場合

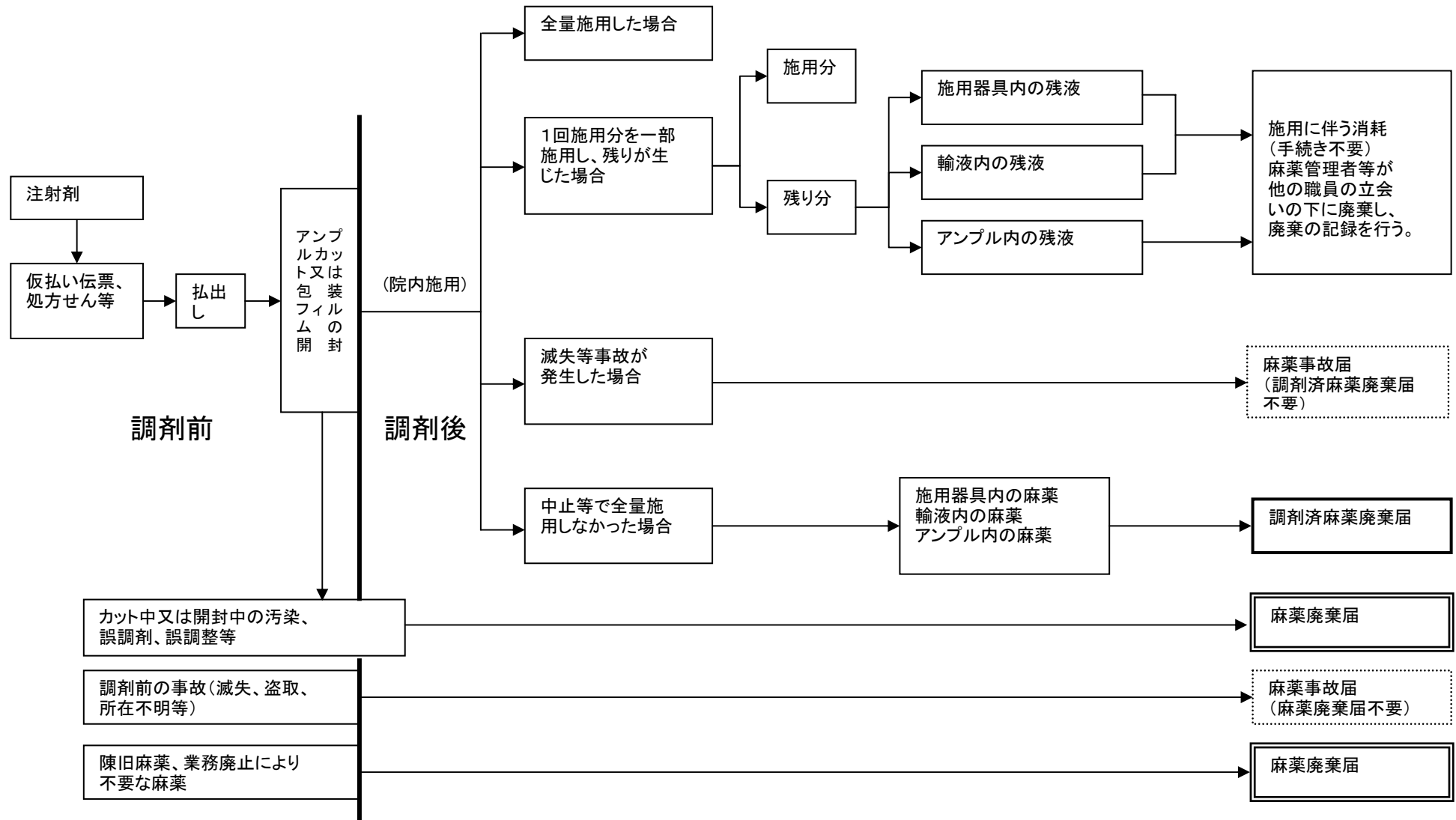
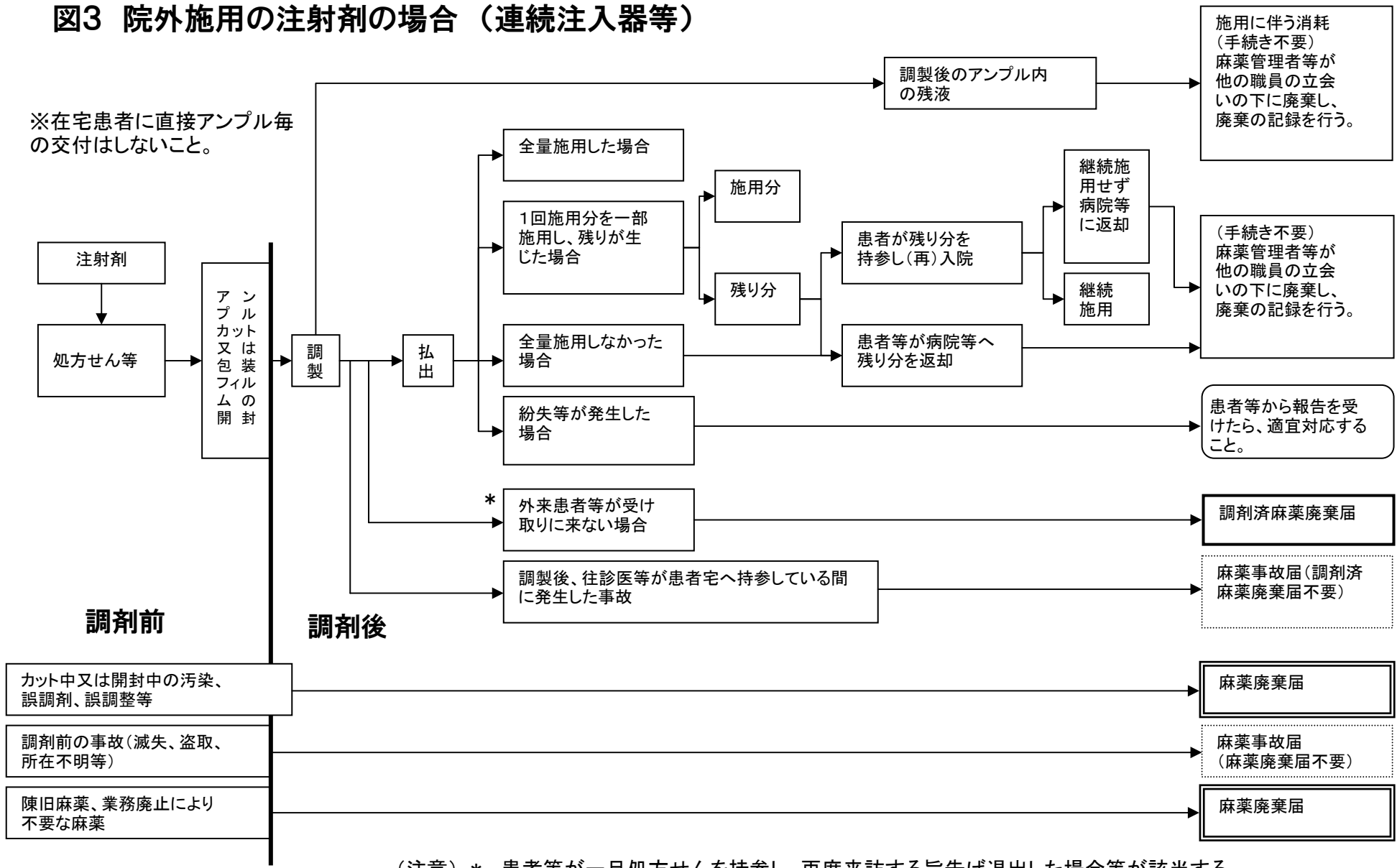
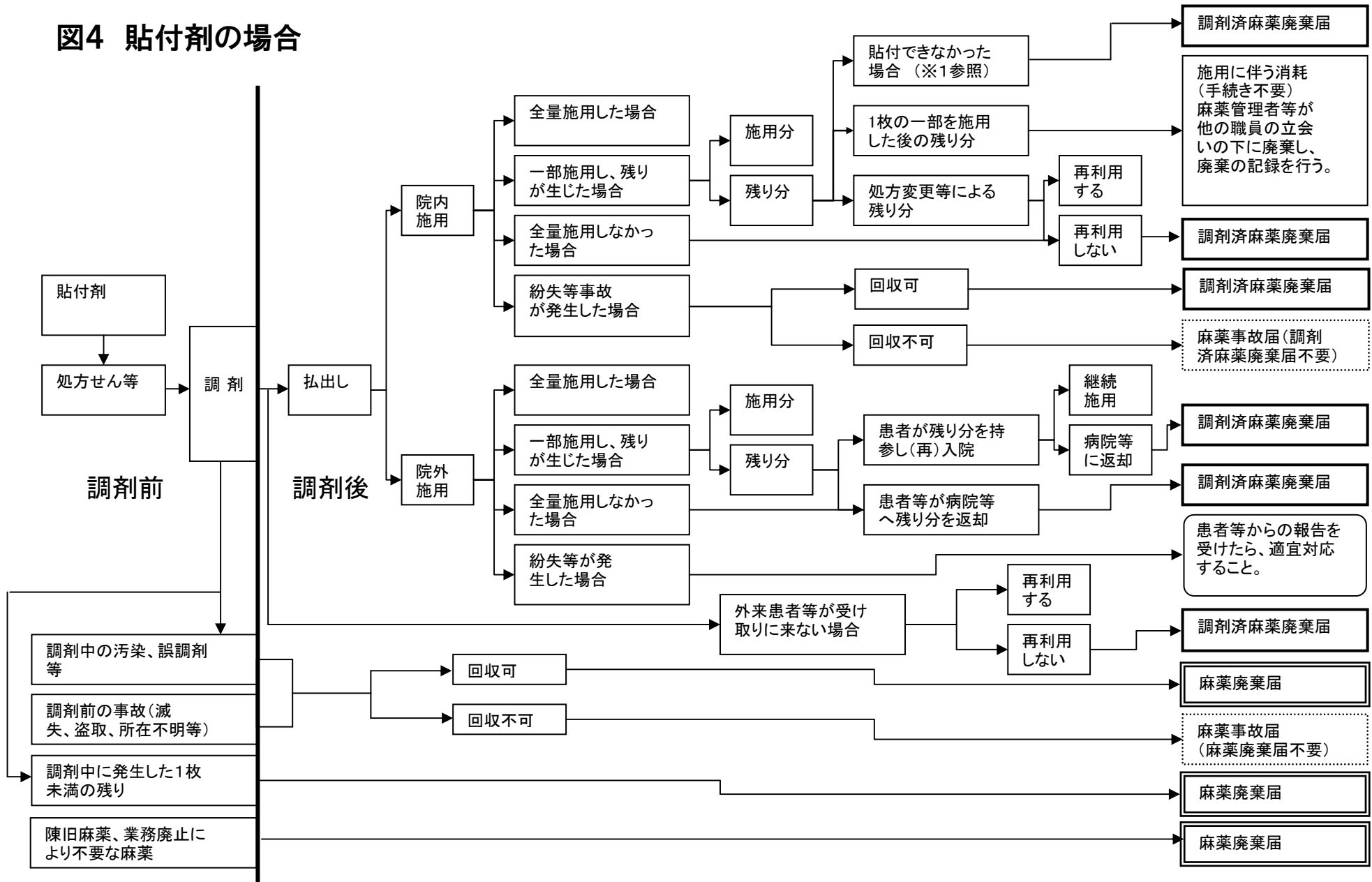


図3 院外施用の注射剤の場合（連続注入器等）



(注意) * 患者等が一旦処方せんを持参し、再度来訪する旨告げ退出した場合等が該当する。

図4 貼付剤の場合



(注意) ※1 ライナーから剥がすのに失敗した場合等が該当する。
 ※2 施用途中で剥離した場合や途中で施用を中止した場合は、施用済みとして処理すること。
 ※3 院内で施用済みの貼付剤(上記※2の場合も含む。)については、麻薬管理者が全て回収し適切に廃棄すること。

図5 その他の場合（液剤、散剤等）

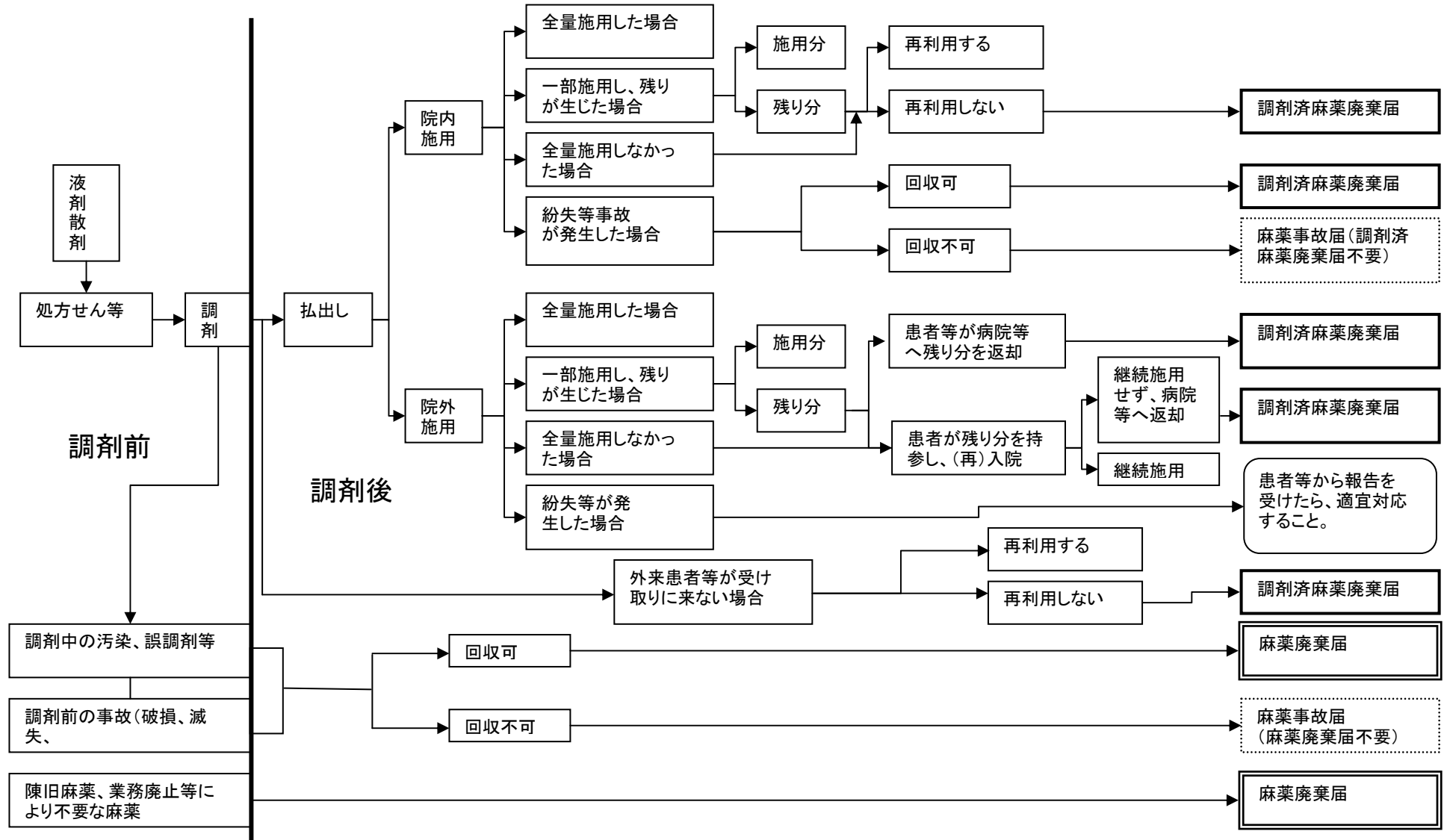


図6 バイアル製剤の場合

